

授業科目名	環境保健学	担当教員	教授 名越 究、伊藤智子		
開講年次及び学期	1年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
授業の目的（概要）					
<p>公衆衛生・衛生の概要を教授する。個人の健康と疾病リスク、疾病予防と健康増進、社会の中で集団としてとらえた疾病予防と健康増進について教授する。様々な環境要因の中で営まれている生活環境と健康との関係を教授する。さらに、人々の生活環境をより良いものとする目的をもって行われる保健・環境・公衆衛生行政や地域における健康危機管理について概説する。</p> <p>なお、1年生後期の講義なので、講義の中で主要な疾病そのものに関する概略の知識が持てるようにする。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生・衛生の概要を理解する。 2. 感染症や生活習慣病等の疾病リスクと予防、健康増進について理解する。 3. 疫学・保健統計を通して個人・集団の健康を考える方法を理解する。 4. 様々な環境と人間の健康との関わりを理解する。 5. 環境保健、公衆衛生をすすめる行政施策を理解する。 6. 健康増進に関連する政策と保健活動について理解する。 7. 地域における健康危機管理及びその対策に関わる看護職の役割について理解できる。 					
キーワード					
公衆衛生、環境衛生、疫学、健康、生活、予防、感染症、循環器疾患、糖尿病、生活習慣病					
授業の進め方					
<p>Webexによるライブ講義およびオンデマンド型講義を併用して実施します。出席確認はチャットで行います。毎回、講義前にチャットに学籍番号と氏名を入れてください。講義開始ギリギリに入ると込み合っアクセスが難しくなります。20分前には入室できるようにしますので、余裕をもって入ってきてください。</p>					
成績評価の方法（合否基準）					
<p>毎回の講義終了後の小テスト（moodleでの受験）と10月22日の講義終了後のレポート(moodle上に提出)により、総合的に評価をします。詳細は、初回の講義で説明をします。</p>					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
教科書： 小山 洋 他編集、シンプル衛生公衆衛生学、南江堂、最新版					
オフィスアワー					
伊藤智子(地域・老年看護学講座) 質問等随時受け付けます。					

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A-2-1) 学修の在り方

ねらい：看護だけでなく、様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、根拠ある看護実践に結び付けることを学ぶ。

学修目標：

①看護実践の根拠として、様々な情報を客観的・批判的に整理する必要性を理解できる。

B-2-1) 健康の概念

ねらい：健康の定義や健康に関する概念について学ぶ。

学修目標：

①健康の定義について説明できる。

②健康に関連する主要な概念について説明できる。

③健康行動を理解するための基本となる理論について説明できる。

④健康の社会的決定要因について説明できる。

⑤多様な健康状態にある人々に応じた健康の捉え方の重要性について理解できる。

⑥予防の概念について説明できる。

⑦疾病や障害の遺伝要因と環境要因について説明できる。

B-2-2) 環境と健康

ねらい：人々の暮らしを取り巻く環境について、現状や課題と健康への関連について学ぶ。

学修目標：

①環境について説明できる。

②環境の現状や課題、環境と健康・生活との関連について説明できる。

④健康を支援するために環境に働きかけていく必要性について説明できる。

B-2-3) 生活・ライフスタイルと健康との関連

ねらい：多様な生活・ライフスタイルを持つ人を理解し、その人にとって健康な生活の在り方を考えるための基礎となる生活と健康との関連について学ぶ。また、人がより良い健康行動をとることができるよう支援するために必要な行動科学・社会科学に関連する知識について学ぶ。

学修目標：

①ライフスタイルの背景にある文化を理解し、多様なライフスタイルを理解できる。

②栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠と健康との関連について説明できる。

③ストレスの原因と健康との関連について説明できる。

④嗜癖と健康との関連について説明できる。

⑤生活習慣に関連付けた健康の概念や政策について説明できる。

⑥個人のライフスタイルについて健康の側面からアセスメントする重要性について説明できる。

B-2-6) 疫学・保健統計

ねらい：根拠に基づいた看護を実践するための基礎となる疫学と保健統計について学ぶ。

学修目標：

①人口統計や指標について説明できる。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	10月1日	14:55~ 16:35	N12	Webex(ライブ)	衛生学・公衆衛生学の基本Ⅰ	衛生学・公衆衛生学序論	名越 究
2	10月8日	"	"	Webex(ライブ)	衛生学・公衆衛生学の基本Ⅱ	ヘルスプロモーション	名越 究
3	10月22日	"	"	Webex(ライブ)	衛生学・公衆衛生学の基本Ⅲ	公衆衛生のキーワード	名越 究
4	10月29日	"	"	Webex(ライブ)	公衆衛生の実践活動Ⅰ	公衆衛生と保健所	出雲保健所所長
5	11月12日	"	"	Webex(ライブ)	公衆衛生の実践活動Ⅱ	疾病予防と健康管理(循環器、がん)	健康管理センター 井上和子
6	11月19日	"	"	Webex(ライブ)	公衆衛生の実践活動Ⅲ	環境と健康	出雲保健所 環境保全課長
7	11月26日	"	N12	Webex(ライブ)	公衆衛生の実践活動Ⅳ	環境保健と研究(卒研参加)	名越 究 伊藤智子
8	12月3日	"	N12	Webex(ライブ)	保健統計・疫学の基本Ⅰ	健康指標と保健統計	島根大学名誉教授 小林 裕太
9	12月10日	"	"	Webex(ライブ)	保健統計・疫学の基本Ⅱ	疫学序論	島根大学名誉教授 小林 裕太
10	12月15日	10:25~ 12:05	"	Webex(ライブ)	保健統計・疫学の基本Ⅲ	疾病予防と健康管理(感染症)	谷口かおり
11	12月24日	14:55~ 16:35	"	Webex(ライブ)	保健統計・疫学の基本Ⅳ	健康増進	谷口かおり
12	1月7日	"	"	Webex(ライブ)	公衆衛生の実践活動Ⅴ	疾病予防と健康管理(メンタルヘルス) あなたもゲートキーパー	出雲保健所 心の健康支援課
13	1月14日	"	"	オンデマンド	公衆衛生の実践活動Ⅵ	公衆衛生看護	伊藤智子
14	1月21日	"	"	オンデマンド	公衆衛生の実践活動Ⅶ	地域づくりと健康づくり	伊藤智子
15							
備考							